

麦との輪作体系における水稻乾田直播栽培の雑草防除技術

農業研究部・水田農業グループ

1. 研究の背景

水田農業において米価下落などに対応するため生産費低減が課題であり、育苗や代かき作業が不要な水稻乾田直播栽培が注目されている。そこで、麦類との輪作体系における播種後から入水までの雑草防除技術について検討した。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

播種後出芽前土壌処理除草剤と入水前茎葉処理除草剤の両方を処理することで入水後の水稻の生育初期までの雑草を概ね抑制することができる。

[雑草防除効果]

播種後出芽前処理除草剤(サターンバアロ乳剤)、入水前茎葉処理除草剤(クリンチャーバスME液剤またはクリンチャーEWとシャドー水和剤の混用)における残草乾物重の無処理区比は4~18であった。

播種後出芽前処理除草剤(サターンバアロ乳剤)と入水前茎葉処理除草剤(クリンチャーバスME液剤またはクリンチャーEWとシャドー水和剤の混用)を組み合わせることで0~2と高い防除効果が得られる。



図1 無処理区の雑草の発生状況
(2015年7月2日・播種後31日)

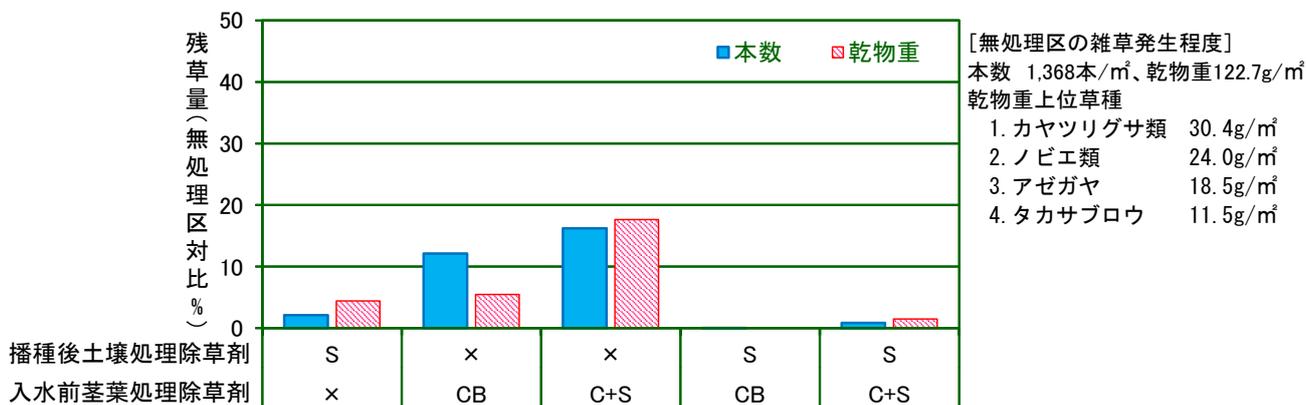


図2 除草剤処理後の雑草調査結果(2015年)

注1)処理剤の記号は、S(サターンバアロ乳)、CB(クリンチャーバスME液)、C+S(クリンチャーEW+シャドー水和)を示す。

○処理日: 播種後土壌処理: 6月4日(播種後2日)、入水前茎葉処理: 6月23日(播種後21日、入水前7日)

○雑草調査日: 7月24日(入水後24日)

3. 期待される効果

水稻乾田直播栽培の生産安定に寄与できる。

4. 担当機関連絡先

農業研究部 水田農業グループ 水田農業チーム
TEL: 0978-37-1160、住所: 宇佐市大字北宇佐 65